

3. 南部保健地域の保健医療サービスの状況

3 - 1 ヘルスセンター

調査団はマンチェスター郡(マンデビル【タイプ A】、オールド・イングランド【タイプ B】、ブラットビル【タイプ C】、ニュー・ポート【タイプ D】)、セント・エリザベス郡(ベル・ビュー【タイプ E】、ジャンクション【タイプ F】)、クラレンドン郡(メイ・ペン【タイプ G】、レイモンド【タイプ H】、サンデイ・ベイ【タイプ I】)を視察した。ジャマイカのヘルスセンターは規模および機能からタイプ A から I の 4 種類に分類される。今回の視察により判明した事項は以下のとおり。

(1) 予防接種と妊産婦健診を中心に、いずれのタイプのヘルスセンターも住民によく活用されている。

(2) 保健婦・助産婦の意識は高く、地域住民から尊敬されている様子も窺えた。予防接種も保健婦と助産婦が自立した業務として実施している。

(3) 住民が講習を受講する際は第一礼装か第二礼装で出席しており、熱心に講師の話を聞き、積極的に参加している。住民がヘルスセンターを信用する一方で、インタビューした住民がその日の予防接種の種類を知らないなど、理解が十分でない面もある。

現在のヘルスセンターは世代を引き継ぐ形で信頼を得ており、地域住民の間に定着していると考えられる。ヘルスセンターの設置数についてもジャマイカのヘルスセンターが日本の市町村レベルの業務まで行っていることを勘案すれば、一概に多いともいえない。プロジェクトではマンチェスター郡のヘルスセンター訪問調査の結果を踏まえて配置基準見直しの是非を検討しているが、国民になじんでいる場所の変更については、そのプラスの効果とマイナスの効果を十分に検討する必要がある。

3 - 2 病院

南部地域には各郡に 1 つの公立病院が存在し、調査団はすべて(マンデビル病院、ブラックリバー病院、メイ・ペン病院)を視察した。改築中のマンデビル病院が多くの訪問者で賑わいをみせていたのに対し、米州開発銀行の資金協力により建設され、1997 年 11 月 20 日に開設されたメイ・ペン病院は広々とした敷地に真新しい機材を有してはいたものの閑散としており、対照的であった。

マンデビル病院は機材は古いものの稼働状況は悪くはないように見受けられた。他方、メイ・ペン病院は国から高度医療病院(タイプ C)と位置づけられながら人材の配置が追いつかず、高度な医療措置が必要な場合は、マンデビルもしくは首都のキングストンに患者を紹介するという状況

であった。人材配置は多量の医療機器のメンテナンスとともに深刻な問題であることはクラレンドン郡の保健マネージャーも認めている。

3 - 3 医療情報の管理

(1) 保健省作成のマニュアル

保健省はマニュアルを作成し、患者診療記録の様式、患者診療記録を保管管理するためのインデックスカードの様式、来診患者の種別や数の保健省への定期的報告の様式、他医療機関への患者紹介の様式等を定めている。このマニュアルについてはすべての保健医療関連施設に配布されており、記載が義務づけられているため、形式は整備されているといえる。

(2) 問題点

患者診療記録については、各施設の保管スペースが少ない、見出しが効率的に表示されていない、番号順に並べられていない場合がある、といった原因により再来患者の既存記録の発見に時間がかかる、ときには発見できないといった問題が生じている。

(3) コンピューターの利用

マンデビル病院およびメイ・ペン病院においてはコンピューターが導入されている。患者情報については1997年以降、インデックス・ファイル(基礎的データを記入したもので、これにより患者診療記録の番号を認識し、探す)のコンピューターへの入力が始まり、活用されている。従来と同様にカードも作成されている。一方、ヘルスセンターにおいてはコンピューターは導入されていない。

3 - 4 健康教育

(1) 母親教室

メイ・ペン・ヘルスセンターでは妊婦検診とあわせてバランスのよい食事の摂取や入浴等の清潔指導等を内容とする母親教室を実施する場面に出会ったが、講師の助産婦は必ず対象者に返答・反復させるなど、工夫がこらされ、活発なやりとりが行われていた。

(2) 印刷物

ポスターは内容的には性病予防、家族計画(標語例 "Two Is Better Than Too Many")の関連のものが多く、ジャマイカ国内で作成されているもの、世界保健機構等の国際機関関連のものが約半分ずつを占めていた。

(3) テレビ／ビデオ

規模の大きいヘルスセンター（タイプⅢおよびⅣ）にはテレビが設置されており、ジャンクション・ヘルスセンターでは約 20 種類のビデオ教材が存在するのを確認したが、実際にどの程度活用されているのかは不明であった。

(4) 栄養教室

マンデビル・ヘルスセンターでは、食料関連会社の Grace 社が母子を対象とした栄養に関するプレゼンテーションを実施している場面に会わせて。同社はジャマイカ国内の各地域を巡回して同様の活動を実施しており、自社製品の宣伝が目的ではあるものの、各ヘルスセンターは前向きに受け入れているとのことであった。

3－5 保健従事者の職種と役割

今回の調査において保健従事者の職種と役割を確認したので、以下に列記する。

	保健婦	助産婦	健康教育士	アシスタント	栄養士	医師
資格要件	看護婦 2 年以上経 験後助産婦学校卒 助産婦 2 年以上経 験後、保健婦学校 卒	高校卒後 3 年以上 の看護学校卒 看護婦 2 年以上経 験後助産婦学校卒	高校卒後 15 カ月 の専門学校または 大学卒	特になし	大学または大学院 卒業	（日本と同様）
配属地	タイプⅢまたはⅣ	タイプⅠ～Ⅳ	タイプⅠ～Ⅳ	タイプⅠ～Ⅳ	タイプⅢまたはⅣ	タイプⅢまたはⅣ
配置数	5 人	1～5 人	1～5 人	1 もしくは 2 人	1 人	1 人
業務内容	予防接種、がん検 診等に従事 活動の企画管理	妊婦検診、助産業 務、母親教室、妊 婦相談、予防接種 、育児相談	就学以前の子供に 対する衛生教育、 学童に対するエイ ズ等の教育、乳癌 自己検診法指導	地域情報を収集の うえ職員に伝達、 地域への情報伝達	バランス食の指導 、妊婦・母親教室 での栄養指導	検診とクリニック
家庭訪問	助産婦、健康教育 士、アシスタント 等の依頼や連絡に 基づいて実施	第 2 子以降が原則 として自宅分娩の ため、訪問により 助産介助を実施	なし	（地元の情報は把 握している）	保健婦と同様、他 の関係者からの要 請に基づいて実施	なし